

喪中はがきにかえて

松田妙子

十月二十四日、母が亡くなりました。ある程度覚悟はしていたものの、いざとなると体が如実に反応します。元々睡眠障害で摂食障害の私が、いよいよ「眠れない・食べられない」の

極みに達し、目を閉じて横になっていても苦しいです。この不眠地獄の苦しみは、旅立った母がいまだ浄土へたどり着けず、中有をさまよう苦しみを私の体が受信しているのか、と思ったほど。

この季節になると、毎年何人かの友人・知人から喪中葉書が届きますが、これまでの私は、何と思慮の浅い人間だったのだろう、とも思います。人が亡くなることの重みを考えもせず、ただ「年賀状を出すべき人」と「出せない人」に事務的に振り分けるだけだったからです。

趣味も友人らしい友人もなく、何の劇的なこともない、平凡な専業主婦の一生でした。母の残した日記には、どの店で何円買っ物をして、夕食のおかずは何だったか、ということしか書いてありませんでした。私が、イラク戦争についての集会に出かけようとしている時、「今日のおかずは南瓜さんく」と、歌うように言っていた母。あなたには世界の平和より南瓜の方が大事なのか、と、当時の私は内心馬鹿にしたものです。でもこんな、母のような「平凡な庶民」を抜きにして、何で世界平和が語れましょう。



認知症が進んでからの母は、幼い子どものようにいじらしく、可愛らしかったです。「おててがいたい」などと自ら幼児語を使い、私が出かけようとするとうんざり先までついて来て、「早う帰って来てなー」と、不安そうに言っていた母。私は、幼い子を置いて働きに出るワーキング・マザーになったような気分を味わったものです。

おばあさんになっても丸々と肥えて、幼児のように丸い額と頬を持つていた母が、最期には骨の上に皮がのっているだけの、骸骨のような姿になりました。その死に顔に、葬儀社の人々が、真赤な口紅と頬紅を塗りたくった死化粧が、まるでピエロのような顔でした。出棺に際しての「最後のお別れ」の時、私は泣いてお棺の中にハナミズをこぼし、葬儀社の人に見つかって、オコられました。そんな、こっけいで哀れな、母の死。

先月号に「森永ヒ素ミルク事件」と母との関わりを書いたのも、何かの縁だったのでしょか。幼い頃聞かされた、森永のミルクにまつわる母の「昔話」を、なぜ私がああもはつきり覚えていたのか。病める赤子の私を背負って、遠い街へと電車で揺られている、若き日の母。自分では覚えていないはずのその場面が、ありありと浮かぶ気がするのじりから。「お母ちゃん私死にそうになった時、私を背負って遠くのお医者さんまで行ってくれたんや」。母に愛されていないと思いきんで育った私ですが、そのことだけは、心の奥に大切にしまっておきたかったです。

「眠れない・食べられない」が高じて、もう濃い味のものは受け付けなくなりました私が、ミルクに食パンをひたしたもののだけは口にする事ができます。きつとそれが、私にとって最も優しい、最も懐かしい味なのでしょう。ああ、永遠のミルク！

すみません。今回は母に関するとりとめのない思いを記すことで精一杯です。神経が極度に張りつめていて、もう薬も効かないのに、まとまった文章を仕上げるほどの気力は充実していません。

ただ、光田寺報にも何度か、母のことを書かせていただきましたので、この場を借りて皆さんにお知らせします。私の母、満智子は八十二才で永眠いたしました。どうということもない平凡な、ささやかな人生でした。ささやかに生きて、ひっそりと死にました。母が生きていたことを知っていて下さった方々、ありがとうございます。ありがとうございました。

2011・10・9 9:30PM

白骨の御文

蓮如上人

それ、人間の浮生なる相をつらつら観するに おおよそはかなきものは この世の始中終 まぼろしのごとくなる一期なり されば いまだ万歳の人身をうけたりという事をきかず 一生すぎやすし いまにいたりてたれか百年の形体をたもつべきや 我やさき 人やさき きようともしらず あすともしらず おくれさきだつ人は もとのし ずく すえの露よりもしげしといえり

されば朝には紅顔ありて夕べには白骨となれる身なり すでに無常の風きたりぬれば すなわちふたつのまなこたちまちにとじ ひとつのいきながくたえぬれば 紅顔むなしく変じて 桃李のよそおいをうしないぬるときは 六親眷属あつまりてなげきかなしめども 更にその甲斐あるべからず さてしもあるべき事ならねばとて 野外におくりて夜半のけぶりとなしはてぬれば ただ白骨のみぞのこれり あわれというも中々おろかなり

されば 人間のはかなき事は 老少不定のさかいなれば たれの人もはやく後生の一大事を心にかけて 阿弥陀仏をふかくたのみまいらせて 念仏もうすべきものなり あなかしこ、あなかしこ

松田満智子さまからの私たちへの法施として、白骨の御文を掲載させていただきました

鎌仲ひとみさんお話し

2011, 10, 1 高砂

9月の25日にいわきに行ってきました

ました。ちょうど原発から30^{km}の所で、肥田先生と、放射能を心配するいわきママの会という子どもたちの健康を心配するお母さんたちの会が呼んでくれました。

いわきの人たちは、自分たちは国に捨てられたと。見えない柵を建てられて、その中にお前たちはそこにいろと、でも助けられない。そこにいればものすごく被曝するし、病気になる可能性がある。あるとわかっているけれども、じゃどこに行ったらいいのか。線を引いてここから中の人は、避難のお金を出すけれど、ここから外は出さない。たった一本の線で分けられて、でもその線をまたいだら放射線の値が違うかというとなんな変わらないのです。自分たちは国にも捨てられたし、福島の人たちはそこで被曝しながら生きると…、ものすごく見捨てられた感じがするということを言っていて、そういう福島の人たちの思いがまだ日本のいろんな地域にまだ伝わりきっていないと思います。それを伝える仕事というのがメディアにはあるし、そこに助けを必要としている、あるいはつながりが必要としている人たちがいるのですから、日本の被災しなかった日本の他の地域の人たちがつながって、今助け合わなければ、私たちは福島の人たちをただ見捨てているということになると思うんですね。

イラクへ行っていたときに、薬が欲しいのに、薬があればこどもも治療できるのに、そしたらこどものいのちが助かるかもしれないのに、それなのに薬がないと苦しんでいたお母さんたちは、まるで世界中がイラクの子どものなんかに死んでしまえばいいんだ、



死んでもいいんだというメッセージを受け止めていました。見捨てられたと。

そういうイラクに2004年から医療支援している団体に入って理事をしています。それはチヨコレートを売っているんですが、こんな可愛いハートのチヨコレートを日本中の人に買ってもらうて、その売り上げが7千万円あって、それで抗がん剤を買ってイラクに送っているんです。それはイラクのお医者さんにものごく喜ばれていて、白血病には4種類あって、その一つの種類には新しい薬が劇的に効くんです。9割が亡くなっていたのが、その薬のおかげで今は8割の子どもたちが助かっています。

イラクにすら、日本人は7千万もチヨコレートを買って下さる、同じ日本人が苦しんでいて、子どもが一番被曝に弱いんです。今度は福島の子どもたちが、もう半年経ちましたから、最低でも10ミリ被曝しています。これ普段の10倍です。もう半年経ったら20倍になるんです。そういう状態でほっておいてはいけないということとは常識なんです。国も福島県もただ大丈夫大丈夫と言うだけで、その大丈夫に根拠がない。お母さん達は子どもを外に出したいと思っっています。外へ出す方法を探っているんです。いろんな自治体が小さなクラス一つでも受け入れるとか、廃校になっているような学校があったら学校ごと受け入れるとか、あるいはそれができないんだったら、せめて福島に住んでいる子どもたちの給食は放射能の入っていないものにするとか、そういう取り組みが必要なんじゃないかと思えます。それは私たちがやらなかったら国もやらないし、県もやらない。福島で声をあげている人たちはもっと助けが必要なんですよね。だから外から福島の人たちにもっと助けを下さいと言わないといけない。

東京電力は被災した人が被害を申請する書類を最近発表しましたが、176ページもあります。ものすごく複雑な書類で、出して間

違いが見つかったら受け付けけないというんです。じゃあ直して出せばいいんじゃないかと思うんですが、いったん出した書類に間違いがみつかったらもう二度と受け付けけないというんです。信じられませんか？東京電力の社長は5億円ももらって辞めて、今年全社員へ少ないとはいえ平均40万円のボーナスが出たんです。

私の友達は福島原発から22^キの所に山林を買って、家族4人で住んでいました。自分たちで家を建てて、100%太陽光パネルで電気を作って自立した家を建てていました。事故が起きて、その家を捨てて放浪しています。それでこの前お父さんだけが家に物を取りりに帰って、子どもの遊び場の遊具を放射線計測機で測ったら26^シありました。普段の四百倍ですよ。もうそんな所には戻れないんだけれど、彼は福島のごみを、汚染された瓦礫を日本中の自治体が引き受けて焼くというようなことをしてはいけないと、140坪しかない山林だけれど自分の土地を提供するからそこに捨ててもらってもいい、福島から放射性物質で汚染された瓦礫を外へ出すというようなことをしてはいけないと言っています。国は放射能で汚染された瓦礫を日本中の自治体に配って処理してくれと頼んでいます。そんなことをしたら汚染されなかった日本の各地がだめになってしまいますね。間違ったことをたくさんやろうとしているんです。

祝島の人たちが自分たちの生活を守ろうと頑張ったように私たちも守らないといけないですね。私たちのことも守らなければいけないし、福島のごどもたちも同じように守らなければならない。それはですね、私たちの暮らしを守ろうという取り組みが、そのまま福島の人たちへの応援にもなるんです。自分たちは被曝したくない。当たり前ですよ。で、福島の人たちも被曝させてはいけない、なるべく被曝ささないような対策を立てなさいと。当然ですよ、なんで福島の人たちだけが被曝しなければいけないんですか？でも今そうなっているの、情報をほんともっと得なきやいけないし、私

たち自身も私たちで考えて、地域を守るといふ取り組みもやって行かなければならない時代かなと思います。

この間上関の町長選がありました。(9・25) 現職の推進派の町長と映画にも出てきた山戸貞夫さんの一騎打ちで、現職の推進派が勝ちました。これはですね、30年もただただ原発から来るお金に頼って町の経済を成り立たせていこうとしてきた人たちが、今こうやって事故が起きたからといって、方向転換できないという姿を表わしていると思います。上関がそうであるように、日本もただただ原発を推進して40年が経ちました。その間いろんな矛盾があり、いろんな放射能漏れがあり、いろんなコストの無駄があると、そういうことを一つひとつ指摘してきた市民グループはずっと無視されて来て今に至って、また野田さんが国連に行つて原発もやるし、海外にも輸出するなどと言っていますね。日本の首相が。私は韓国へ行って昨日帰ってきましたが、韓国は日本がこの原発事故で落ち込んでいる間に、どんどん外国に韓国の原発を売るチャンスだと思っている。するとそのシンポジウムに参加していた市民たちがそれはものすごく大変なことだと。なぜなら韓国は海外に売った原発から出てくる核廃棄物を全部自国へ引き取るという約束をしている。で、日本もそうでしょう。韓国をライバルだと言っていて、同じ条件で原発を海外へ売って、こっちがゴミをひきとると言っているのに、日本が引き取らなかつたら誰が買うんですか？日本も早晚そうやって、お宅の原発から出たごみを引き取りますと言わざるを得なくなる。そんな政策を支持しますか？そこはやっぱり考え所ですよ。

その反対している市民の中にソウル大学っていう、日本で言う東大を出たお医者さんがいて、韓国で原発反対を言っている科

学者で、唯一の方なんですけど、彼がいろいろ調べたら、韓国の核廃棄物処理はずさんで、10年たつたら中身が漏れるということが分かった。それを韓国の原子力安全委員会に質問状を送って、10年たつたら漏れるんじゃないですかと聞いたら、その通りと返事が返ってきたそうです。10年たつたら自分たちは責任を持たない。そんな所に世界中に原発を売って、世界中から核廃棄物が来るとしたら、たまつたものじゃない。日本だつてたまつたものじゃない、この福島事故さえ処理できないで、苦しんでいるわけですから。しかも原発なくても電気は足りているということが最近分かってきました。日本は自然エネルギーを全く増やさなくても、原発を全部やめても、電気は余っていたんです。だまされていました。その一つ一つがいかに私たちに知らされてこなかったか。だだ知らなかったじゃ済まない。これはいのちに関わる情報なんです。子どもたちの健康に関わる情報なんです。私たちはそれをきちんと知らなければいけないというふうに思います。(終わり)

フォーラム No.22 発行 2011. 8.31
原子力行政を問直す宗教者の会
(事務局) 〒669-2213 兵庫県川西市中央155 美田地区 FAX. 0795-04-2740
(ホームページ) <http://www.mukakumuhai.net> 会費 2000 円/年

▼急募▼ カンパにご協力下さい!

●北海道の復興「食糧・グループ」支援プロジェクト
この事業は、政府の補助で個人・法人に約300名の参加者
7月に文書でお知らせした通り、この条件は、関係各寺院・地域の協力を
いただき、島の子どもたちに北海道で収穫していただくプロジェクトを
実施いたしました。

●被災地復興を支援 一宮町の復興委員会をこえて約300名の参加者
この事業は、政府の補助で個人・法人に約300名の参加者
7月に文書でお知らせした通り、この条件は、関係各寺院・地域の協力を
いただき、島の子どもたちに北海道で収穫していただくプロジェクトを
実施いたしました。

●目標額 300 万円
この日の目標額は300万円です。是非ともこのプロジェクトの成功につ
いてご賛同し、ご支援をお願い申し上げます。なお、このプロジェクト
は東海以降も継続して実施いたします。

【加入先】 事務局 ☎0100-6-768244
口座名 宗教者から子どもを守る高規格ネットワーク
銀行名 ゆうちょ銀行 高規格ネット
支店 (店舗) 〇一九(セロイキヤウ)
口座番号 〇768244

北海道の復興「食糧・グループ」支援
第1期(7月23日~8月2日)の様子



福島の子どもたちを放射能から守り
未来へつなぐために!

大事な情報が分かりやすく載せられた「原子力行政を問いなおす宗教者の会」の冊子です。ご希望の方に差し上げます。

宗教者の会HPより

然と乗ることではなく、流れに逆らわなければならぬ時に、流れに抗して生きる。時代潮流にただ漫

宗教とは本来、そのことを可能にするものではないだろうか。